

(別表第1の4)

目標達成計画

事業所名 グループホーム慶雲作成日: 平成 22年 12月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	12	終末期について2例実施経験があるが、家族との情報交換を密に取り行っていたが、直接介助するスタッフに対しての配慮等が不十分である。また、精神的なフォローも図れていない。	終末期の介護について、スタッフ全員で助け合い介護できるように取り組んでいく。	定期的に勉強会、業務カンファレンス、ケアカンファレンス等にてスタッフの不安を取り除き対応、その後のフォローについても検討し、マニュアルとして構築していく。	12 か月	
2	10	介護計画に関して、まだまだ十分に理解し立案できていないスタッフもいる。地域の中でその人らしい生活をするためにも、一人一人介護計画について理解していく必要がある。	介護計画の流れを理解できる。利用者のニーズを把握できる。	3ヶ月に1回の勉強会に取り入れ理解を深める。担当制にて責任感を持って日頃の介護に取り組む。	12 か月	
3	6	毎年1回家族会を開催できているが、事業所中心の会になっている。家族参加型として家族会を開催したが、まだまだ十分でないところが見られた。	気軽に意見が言える家族会が開催できる。	家族のみの話し合いの場を提供できるよう検討したい。困難であれば、家族参加型の家族会を開催し、家族だけで交流出来る場が出来るよう計画していく。ホーム内の行事に呼びかけ交流を図っていく。	12 か月	
4	2	近隣住民が増え、交流をと懸命に働きかけ少しずつ交流を図れていると思うが、まだまだ協力体制が築けるまでには至っていない。	地域の一員として交流を図っていく。	今後もホーム主催の行事ごとには参加を募っていく。それと同時に認知症の理解を深め今後協力体制が取れるよう働きかけていく。地域の方も参加できる勉強会を開催する。地元の行事に参加していく。	12 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。